

地方公共団体名	長野県中川村
所属部局	建設環境課 環境係
現状・実施したい脱炭素施策	実行計画までは立てたものの、具体的な施策は財源の問題もあって進んではない。村内に再エネ事業体を設立し、既設の水力発電所から村内需要家に供給する仕組みはスタートしたが、今後自前の設備をどうやって増やしていくのが課題である。 公共施設の改修に併せて省エネや再エネ利用を進めたいとも考えており、現在は1施設にとどまっている木質バイオマス燃料の利用についても拡大をしていきたい。将来的には、村内で運行しているデマンドバスのEV化や、地域の集会施設などのレジリエンス強化なども取り組んでいきたい。
脱炭素施策の実施によって地域にもたらしたい脱炭素以外のメリット・地域裨益・ありたい未来（ビジョン）	○ コスト削減、エネルギー代金削減 ● 地域の魅力の向上・地域課題解決 ○ 健康・福祉等への貢献 ● 防災・レジリエンス向上 ● 地域経済の活性化・循環型共生圏づくり ○ その他
上記内容の概要	まずはエネルギーコストの地域外流出を減らし、地域内での経済循環を図り、既設・新設を問わず地域内で利用できるエネルギーを確保していくことが重要であると考えている。その施策を通じてレジリエンスや基幹産業である農業の付加価値向上、ひいては移住や関係人口の増加にもつなげたい。 エネルギーコストの流出を抑えることで確保した原資を、地域内での雇用や公共交通などの地域課題解決に向けた投資に振り向けていきたい。
マッチングを望む分野	高 ← 優先度 → 低 1 地域新電力・地域エネルギー会社 4 公共施設での太陽光発電 2 交通分野の脱炭素（EV等） 5 木質バイオマス発電・熱利用 3 ZEB・ZEH・建築物の省エネ その他 : _____
マッチング企業と取り組みたい事業	・ 設立したばかりの地域新電力に対する支援 ・ 公共施設の改修に併せた省エネ・再エネ利活用 ・ 地域内交通のゼロエミッション化 ・ 地域の集会施設等の防災拠点化 ・ 村内事業者や村民を巻き込める形の事業計画や普及の促進